

株式会社 西田組

令和2年度環境活動レポート

(対象期間：令和2年6月～令和3年5月)



作成日：令和3年10月

I 環境経営方針

＜環境理念＞

株式会社西田組は、地域から選ばれる企業である為に、建設業（主に解体工事業）及び産業廃棄物処理業等の事業活動を通して地域の発展に取り組んでまいります。

経営の中に環境保全を明確に位置付け、課題とチャンスをつまみながら環境負荷低減の為に活動を継続し続けます。

＜環境保全への行動指針＞

1. 二酸化炭素の排出削減の推進
2. 産業廃棄物及び建設副産物のリサイクルの推進
3. 水使用量の削減
4. 環境関連法の遵守
5. 環境経営の課題とチャンスへの取り組みを推進
 - ①環境に優しい設計・施工方法の継続的改善
 - ②顧客の安心と満足を満たす環境に配慮したサービスの提供
6. 環境経営システムの継続的改善

制定日：平成27年 9月 1日

改訂日：令和 2年 8月15日

改訂日：令和 2年10月15日

代表取締役社長 西田 文仁

Ⅱ 組織の概要

1. 名称及び代表者名

株式会社 西田組
代表取締役社長 西田文仁

2. 設立

昭和47年1月13日

3. 所在地

本社 青森市大字荒川字柴田102番地1
桐ノ沢処理センター 青森市大字駒込字桐ノ沢158番

4. 環境管理責任者及び担当者連絡先

責任者	環境部	千葉 康貴	TEL 017-741-1915
担当者	総務部	黒滝 卓也	TEL 017-739-2025

5. 事業活動の内容

土木一式工事業・建築一式工事業・とび・土工・コンクリート工事業・舗装工事業・
しゅんせつ工事業・造園工事業・水道施設工事業・塗装工事業・
内装仕上工事業・熱絶縁工事業・鋼構造物工事業・解体工事業
産業廃棄物収集運搬及び中間処理業・特別産業廃棄物収集運搬業
重機類の運転手付き貸付・古物商

6. 事業規模

資本金 5,000万円
売上高 29億8,789万円
従業員 132人

7. 対象範囲(認証・登録範囲)

本社・建設現場
桐ノ沢処理センター

8. 事業年度

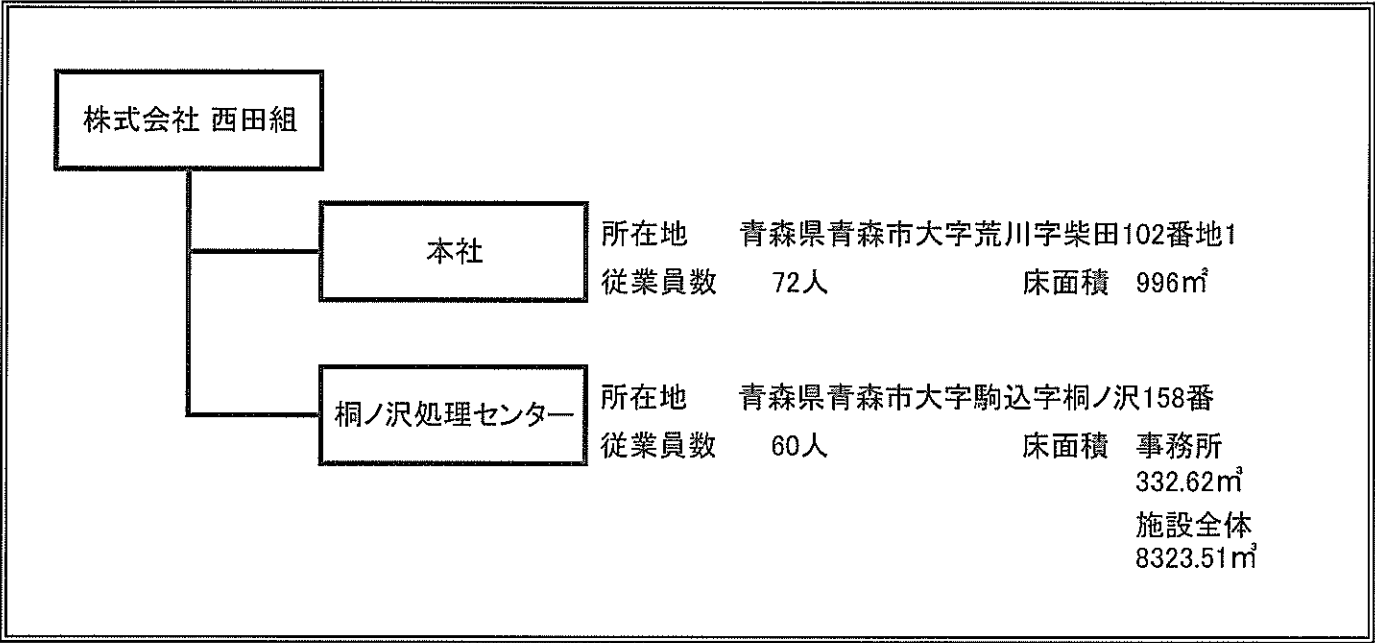
令和2年6月～令和3年5月

9. 環境活動レポートの対象期間

令和2年6月～令和3年5月

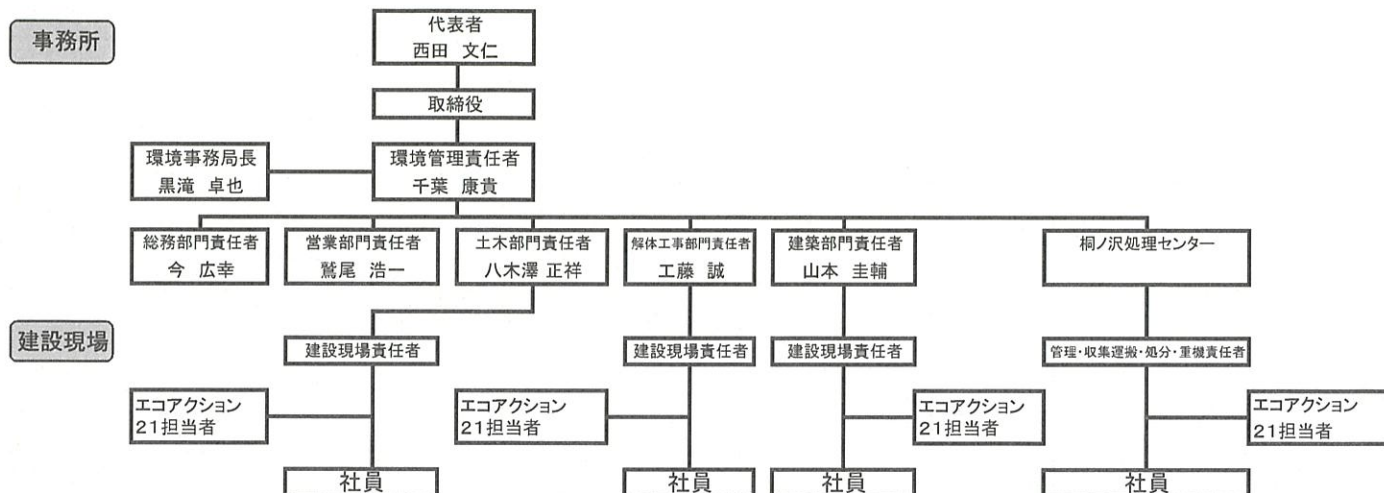
株式会社 西田組 組織図

令和3年5月31日現在



EA21実施体制図

株式会社 西田組



環境経営システム 役割・責任・権限表

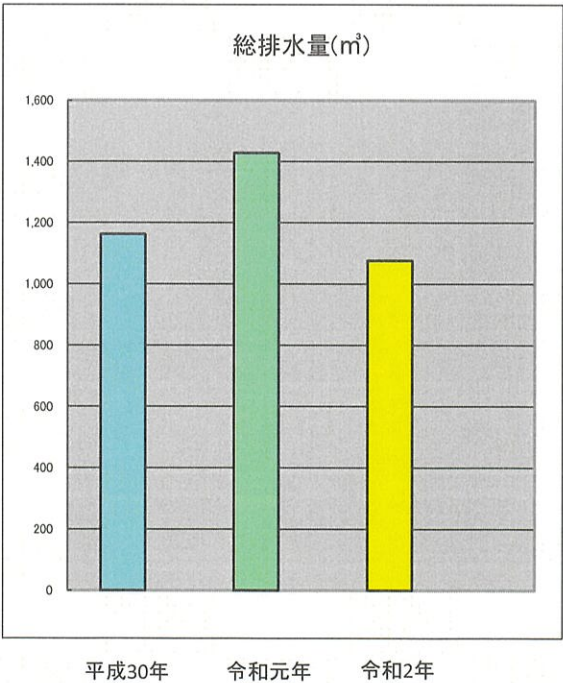
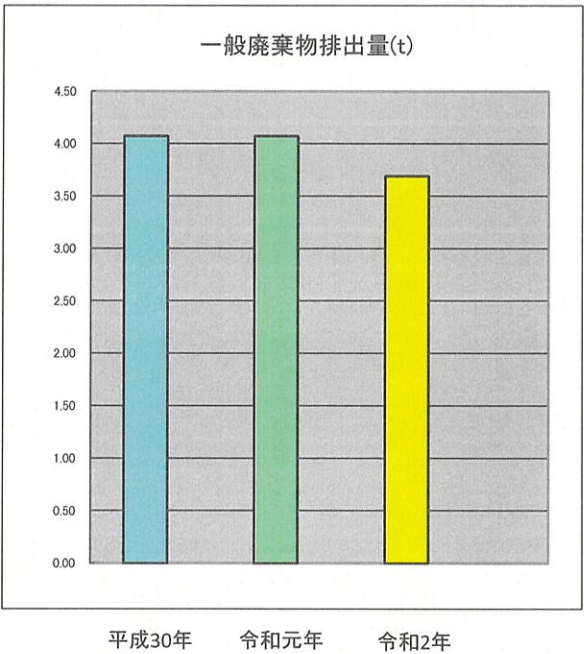
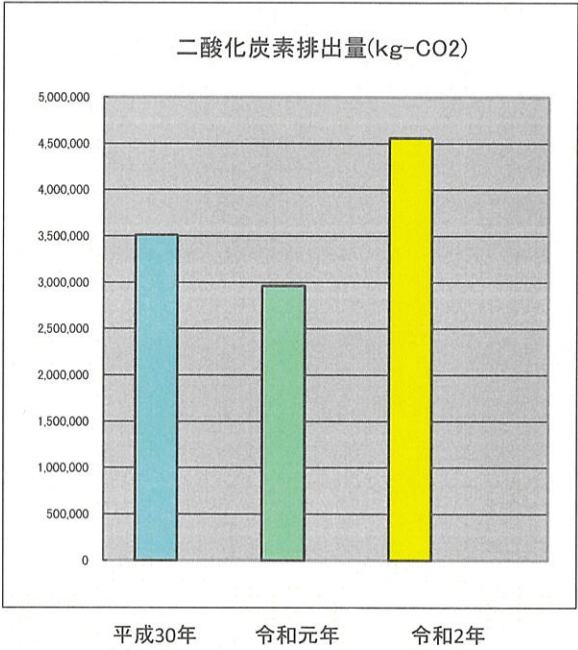
	役割・責任・権限
代表者(社長) 代表取締役社長 西田 文仁	①環境経営に関する統括責任 ②環境経営システムの実施に必要な人、設備、費用、時間、技能、技術者を準備 ③環境管理責任者を任命 ④代表者による全体の評価と見直しを実施 ⑤方針の作成 ⑥経営における課題とチャンスの明確化
環境管理責任者 環境部 環境課長 千葉 康貴	①環境経営システムの構築、実施、管理 ②問題点の是正措置、予防処置の指示・確認 ③代表者への実績報告
環境事務局 総務部 黒滝 卓也	①環境管理責任者の補佐、EA21推進委員会の事務局 ②環境目標、環境活動計画書原案の作成 ③環境活動チェック表等の実績集計 ④環境関連の外部コミュニケーションの窓口
部門責任者及び現場責任者 総務部長 今 広幸 営業部長 鷲尾 浩一 土木部長 八木澤 正祥 解体工事部長 工藤 誠 建築部長 山本 圭輔 環境部 重機課長 小笠原 雅人 環境部 環境課長 千葉 康貴	①所轄事項について環境システムを実施し、維持する ②環境方針の部内への周知 ③教育訓練の実施 ④環境活動計画の実施及び達成状況の報告 ⑤緊急事態への対応のための手順書作成テスト、訓練の実施、記録の作成 ⑥問題点の発見、是正、予防処置の実施
全従業員	①環境方針の理解と環境への取組の重要性を自覚 ②決められたことを守り、自主的・積極的に環境活動へ参加

Ⅲ 環境目標とその実績

1. 主な環境負荷の実績

表1 主な環境負荷等の実績

項目	単位	平成30年度 (6～5月)	令和元年度 (6～5月)	令和2年度 (6～5月)
二酸化炭素排出量	kg-CO2/年	3,512,644	2,961,088	4,556,155
二酸化炭素排出係数(電力)	kg-CO2/Kwh	0.571	0.523	0.521
一般廃棄物排出量	t/年	4.07	4.07	3.69
水使用量(水資源投入量)	m3/年	1,162	1,427	1,075



Ⅲ 環境経営目標とその実績

2. 環境目標の設定

当社では、2018年度を基準年度として中長期及び単年度の環境目標を、それぞれ表2のとおりに設定し、環境活動に取り組んでおります。

表2 環境目標

項目	基準年度(2018年度)比の削減(増加)率(%)							
	中長期目標	基準年度	2019年度		2020年度		2021年度	
	2021年度	2018年度	目標	目標値	目標	目標値	目標	目標値
電力の消費量(kwh/年)	3%削減	2,265,267	1%削減	2,242,614	2%削減	2,219,962	3%削減	2,197,309
ガソリンの消費量(ℓ/年)	3%削減	100,252	1%削減	99,249	2%削減	98,247	3%削減	97,244
軽油の消費量(ℓ/年)	3%削減	759,513	1%削減	751,918	2%削減	744,323	3%削減	736,728
灯油の消費量(ℓ/年)	3%削減	40,755	1%削減	40,347	2%削減	39,940	3%削減	39,532
LPGの消費量(kg/年)	3%削減	124	1%削減	123	2%削減	122	3%削減	120
二酸化炭素合計(kg-CO2/年)	3%削減	3,512,644	1%削減	3,477,518	2%削減	3,442,391	3%削減	3,407,265
一般廃棄物(kg/年)	3%削減	4,073	1%削減	4,032	2%削減	3,992	3%削減	3,951
産業廃棄物【再資源化率】(%/年)	—	100	—	100	—	100	—	100
水使用量【節水】(m³/年)	3%削減	1,162	1%削減	1,150	2%削減	1,139	3%削減	1,127
自らが施工・販売・提供する製品の環境性能の向上及びサービスの改善【グリーン購入】(品目/年)	3%増加	1,021	1%増加	1,031	2%増加	1,041	3%増加	1,052
自らが受託した産業廃棄物の収集運搬・処分における環境配慮及びサービスの改善【再資源化】(t/年)	3%増加	3,323	1%増加	3,356	2%増加	3,389	3%増加	3,423
地域貢献	—	1	—	1	—	1	—	1

3. 環境目標と実績

当社では、環境目標の達成状況の確認・評価を行いました。
今回は、令和2年6月から令和3年5月までの実績についての評価結果を報告いたします。

表3 当該年度の環境経営目標の達成状況等

項目		単位	基準年度	当該年度(2020年6月～2021年5月)			環境目標の達成状況
			2018年度(6～5月)	削減(増加)率(%)	目標値	実績値	
電力の消費量		kwh/年	2,265,267	-2%	2,219,962	1,603,745	○
ガソリンの消費量		ℓ/年	100,252	-2%	98,247	95,150	○
軽油の消費量		ℓ/年	759,513	-2%	744,323	1,299,686	×
灯油の消費量		ℓ/年	40,755	-2%	39,940	35,538	○
LPGの消費量		kg/年	124	-2%	122	106	○
二酸化炭素合計		kg-CO2/年	3,512,644	-2%	3,442,391	4,556,155	×
一般廃棄物		kg/年	4,073	-2%	3,992	3,688	○
産業廃棄物(再資源化率)		%/年	100	—	100	100	○
水使用量(節水)		m³/年	1,162	-2%	1,139	1,075	○
自らが施工・販売・提供する製品の環境性能の向上及びサービスの改善	グリーン購入	品目/年	1,021	2%	1,041	1,261	○
	再資源化の推進	—	建設現場等において環境に配慮した施工や作業の推進に努める。				○
自らが受託した産業廃棄物の収集運搬・処分における環境配慮及びサービスの改善	環境への配慮	—	産業廃棄物の収集運搬・処分において環境に配慮した作業の推進に努める。				○
	再資源化の推進	t/年	3,323	2%	3,389	8,877	○
地域貢献		件/年	1		1	1	○

※ 購入電力の排出係数は、令和3年1月7日環境省・経済産業省公表、東北電力㈱の調整後排出係数 0.521kg-CO2/KWhです。

Ⅳ 環境経営計画、取組結果とその評価

1. 環境経営計画、取組結果とその評価

表4 環境活動計画の内容

環境方針	環境目標項目	取組内容	実施状況の評価	取組結果	次年度の目標	次年度の取組内容
二酸化炭素排出量削減	電力の二酸化炭素排出量の削減	①社内の照明は、昼休み、残業時等不要時は消灯する	○	クールビズやウォームビズの促進によりエアコンの過度な温度設定を回避して省エネ稼働に努めることができた。	目標 2018年度比3%削減 目標値 2,197,309(kwh/年)	クールビズ・ウォームビズの促進によるエアコンのエコ稼働を継続します
		②夜間、休日は、パソコン・プリンター等の主電源を切る				
		③使用してない部屋の空調は停止する				
	車両用(建設機械)の燃料の二酸化炭素の削減	①エコドライブ等運転方法を励行する	×	エコカーへの切替は順調に進んだが、大型造成工事現場での軽油消費量が大幅に増加した為、目標には大きく届かなかった。	目標 2018年度比3%削減 目標値 ガソリン 97,244(L/年) 軽油 736,728(L/年)	燃料を多量に必要とする工事自体は悪い事では無いが、消費に無駄が無い監視をする
		②長時間のアイドリングをやめるように周知徹底させる				
		③道路情報の確認をし、余裕を持って出発				
廃棄物排出量削減	灯油・LPG等の二酸化炭素の削減	④ドライブレコーダーの取り付けによる監視	○	小まめにスイッチのオンオフに取り組み、燃料消費の節約に取り組んだ結果、目標を達成する事が出来た。	目標 2018年度比3%削減 目標値 灯油 39,532(L/年) LPG 120(kg/年)	現場事務所で過度な暖房の使用がないか徹底管理し、灯油使用量の削減を目指します
		①給湯器のムダ使いを無くす				
		②現場事務所でムダに暖房機器を付け過ぎない				
	一般廃棄物の発生抑制	①OA機器等の故障時には、可能な限り修理することで長期使用に努める	○	連絡を紙ベースから電子化に変更したこと。又新型コロナウイルスの影響によりお中元・お歳暮が減少し、結果的に紙等の一般廃棄物が減少した。	目標 2018年度比3%削減 目標値 3951(kg/年)	コピー用紙再利用の継続と連絡の電子化を促進します
		②裏紙使用によるコピー用紙の使用量削減				
水使用の適正管理	再資源化対策の推進	①マニフェストをもとに廃棄物の適正な処理を行う	○	環境に配慮した施工方法を検討し、建設副産物の再利用を100%達成する事ができた。	目標 建設副産物の再利用100%	現場で積極的な建設副産物の再利用及び電子マニフェストの利用促進に努めます
		②リサイクル率の向上を図る				
		①手洗い時、洗い物においては、日常的に節水を励行する	○	節水の呼び掛け、意識向上に努め、目標を達成する事が出来た。	目標 2018年度比3%削減 目標値 1,127(m³/年)	節水の促進を継続する
		②日常的に、手洗い、洗い物時節水する				
化学物質使用量の削減			—	化学物質を取り扱う業務は有りませんでした。	法に則って適正に処理を致します	取扱いがあった場合には、適切な管理を徹底致します
	自らが施工・販売・提供する製品の環境性能の向上及びサービスの改善	①グリーン購入の推進	○	低燃費・低音性能に優れた建設機械を導入し、安全性、作業効率が上昇した。再生材の利用も継続出来ていた。グリーン購入の品目も増えている。	目標 燃費・操作性・低音性に優れた先端設備の導入促進	先端設備を導入し、現場での生産性向上に努める
		②再生材(再生砕石)の使用				
		③低燃費・低音性能に優れた重機の使用				
地域貢献	自らが受託した産業廃棄物の収集運搬・処分における環境配慮及びサービスの改善	①産業廃棄物のリサイクル化を促進	○	処理設備が順調に稼働し、産業廃棄物のリサイクル量を増量する事ができた。	目標 2018年度比3%増加 目標値(再資源化) 3,423(t/年)	産業廃棄物のリサイクル化促進を継続し、リサイクル化設備の充実を図ります
		①駒込川のボランティア清掃を行う	○	駒込川の清掃ボランティアは、新型コロナウイルスの感染状況により中止となったが、道路清掃活動に参加した。	駒込町会と一緒に駒込川の清掃ボランティアを行う。	新型コロナウイルスの感染状況を注視しながら、出来る範囲のボランティアに取り組みたい。
		②地域道路清掃ボランティアに参加する				

○:評価出来る、△:まずまず評価できる、×:評価できない

3. 環境活動の状況

環状野内線美化活動



火災訓練

本社



桐ノ沢処理センター



V 環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価並びに違反、訴訟等の有無

建設リサイクル法・廃棄物処理法等の環境関連法規等について遵守状況を確認したところ違反はありませんでした。

また、過去3年間、関係当局からの違反等の指摘、訴訟等も受けておりません。

VI 代表者による全体評価と見直しの結果

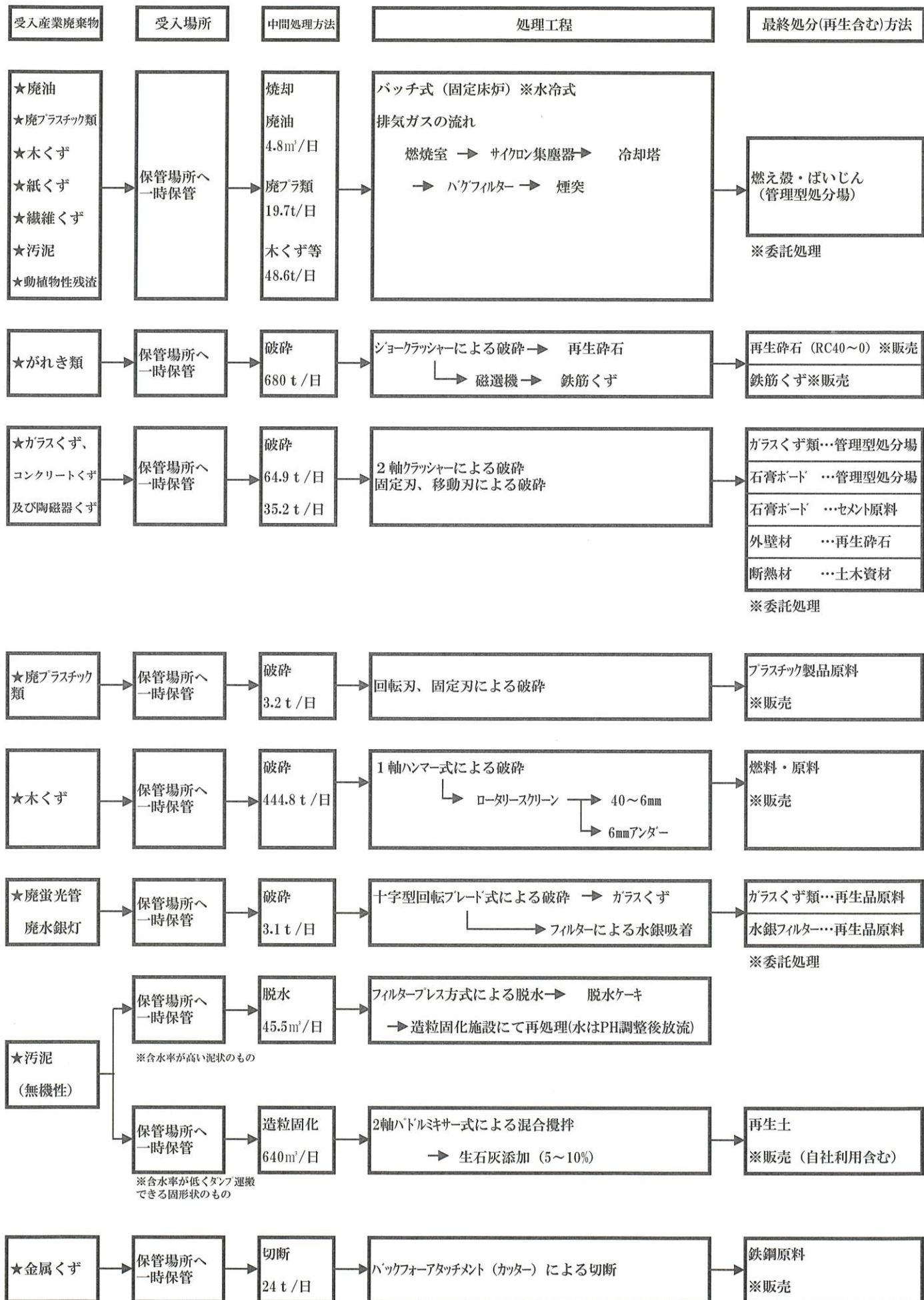
近年の異常気象による災害をメディアを通して知る、または実際に体験することにより、環境に対する意識は弥が上にも高まる中、このエコアクション21の取り組みを通し、社員は自分が出来る範囲での行動で地球環境保存へ僅かでも貢献しているとの意識が生まれ、より積極的に参加していると感じる事が出来ます。大方設定した目標をクリアした結果は、社員一丸となって実践した賜物と評価し、一部達成出来なかった目標については、どのようにしてクリアするべきか、全社を上げて取り組んで参ります。

VII 廃棄物処理に係る組織の概要

事業所名		株式会社 西田組 桐ノ沢処理センター		
代表者名		代表取締役社長 西田 文仁		
所在地		青森市大字駒込字桐ノ沢158番地		
環境管理責任者		千葉 康貴		
エコアクション21担当者		黒滝 卓也		
連絡先	電話	017-741-1915	ファクス	017-741-9324
	E-mail	chiba@nishidagumi.co.jp		
	URL	http://www.nishidagumi.co.jp		
事業活動の内容		産業廃棄物の収集運搬及び処分、特別管理産業廃棄物収集運搬、一般廃棄物運搬		
事業の規模 (2020年)	品名	実績 (t)		
	収集運搬量	32131.25		
	処分量	41033.75		
	製造量	31483.08		
	最終処分量	2513.69		
許可の内容	許可名／許可番号	年月日		事業計画・事業の範囲 (事業区分、廃棄物の種類)
	産業廃棄物収集運搬業 (市) 第10812008968号	許可	平成30年6月29日	燃え殻、汚泥、廃油、廃酸、廃アルカリ、廃プラスチック類、紙くず、木くず、繊維くず、動植物性残さ、ゴムくず、金属くず、コンクリートくず及び陶磁器くず、がれき類、ばいじん (これらのうち、自動車等破砕物及び特別管理産業廃棄物であるものを除き、石綿含有産業廃棄物、水銀使用製品産業廃棄物であるものを含む。) 積替え保管有り (汚泥、廃プラスチック類及び金属くず (消火器に限る)に限る。) 【面積】3.78㎡【保管上限】1.176t、(汚泥)【面積】1.95㎡【保管上限】0.588t、(廃プラスチック類)【面積】1.008㎡【保管上限】0.0084t
		有効	令和5年5月12日	
	産業廃棄物収集運搬業 (県) 第00200008968号	許可	平成30年11月19日	燃え殻、汚泥、廃油、廃酸、廃アルカリ、廃プラスチック類、紙くず、木くず、繊維くず、動植物性残さ、ゴムくず、金属くず、ガラスくず、コンクリートくず及び陶磁器くず、がれき類、ばいじん (これらのうち、自動車等破砕物及び特別管理産業廃棄物であるものを除き、石綿含有産業廃棄物及び水銀使用製品産業廃棄物であるものを含む。) 積替え保管無し
		有効	令和5年8月31日	
	特別管理産業廃棄物収集運搬業 (市) 第10862008968号	許可	令和2年12月17日	廃油、廃酸、廃アルカリ、感染性産業廃棄物、廃PCB等、PCB汚染物、廃石綿等、ばいじん、燃え殻、汚泥 積替え保管有り (感染性産業廃棄物に限る。) 【面積】7.74㎡【保管上限】7.45㎡
		有効	令和9年11月26日	
	特別管理産業廃棄物収集運搬業 (県) 第00250008968号	許可	令和3年1月14日	廃油、廃酸、廃アルカリ、感染性産業廃棄物、廃PCB等、PCB汚染物、廃石綿等、ばいじん、燃え殻、汚泥 積替え保管無し
		有効	令和9年11月26日	
	産業廃棄物収集運搬業 (いわき市) 第09400008968号	許可	平成29年6月15日	廃プラスチック類、紙くず、木くず、繊維くず、金属くず、ガラスくず、コンクリートくず (工作物の新築、改築又は除去に伴って生じたものを除く。) 及び陶磁器くず、がれき類、以上7種類 (これらのうち特別管理産業廃棄物であるもの、自動車等破砕物、廃プリント配線板 (鉛を含むはんだが使用されているものに限る。))、廃容器包装 (固形状又は液状の物の容器又は包装であって不要物であるものをいう。)、鉛蓄電池の電極であって不要物であるもの、鉛製の管又は板であって不要物であるもの及び廃ブラウン管 (側面部に限る。))を除き、廃石膏ボード及び石綿含有産業廃棄物を含む。) 積替え保管無し
		有効	令和4年6月14日	
	産業廃棄物収集運搬業 (岩手県) 第00300008968号	許可	令和2年8月20日	汚泥、廃油、廃プラスチック類、紙くず、木くず、繊維くず、動植物性残さ 積替え保管無し
		有効	令和7年8月19日	
	産業廃棄物処分量 (市) 第10822008968号	許可	平成30年6月29日	【脱水】汚泥 【焼却】汚泥、廃油、廃プラスチック類、紙くず、繊維くず、動植物性残さ 【破砕】金属くず (廃蛍光灯、廃水銀灯に限る。) 廃プラスチック類、木くず、ガラスくず、コンクリートくず及び陶磁器くず、がれき類 【造粒固化】汚泥 (無機性のものに限る。) 【切断】金属くず (これらのうち、自動車破砕物及び特別管理産業廃棄物であるものを除く。)
		有効	令和5年5月12日	
	産業廃棄物処分量 (県) 第00220008968号	許可	平成30年11月19日	【破砕】木くず、がれき類 【造粒固化】汚泥 (無機性のものに限る。) (これらのうち、特別管理産業廃棄物であるものを除く。)
		有効	令和5年8月31日	

設備	設備名	能力・産廃の種類	台数	設備名	能力・産廃の種類	台数
	脱水施設	汚泥（無機性のものに限る。） 45.5m ³ /8h	1	ニブラ		2
	焼却施設	廃油 4.8m ³ /8h 廃プラスチック類 19.7t/8h 木くず等 48.6t/8h	1	スクリーン		2
	破碎施設（H3-1000） （移動式：駐車場での移動を含む）	木くず 444.8t/8h	1	マグネット		1
	破碎施設（HC2410）（移動式）	木くず 616t/8h	1	12t ダンプ	収集運搬	1
	破碎施設（KWC300） （移動式：駐車場での移動を含む）	がれき類 680t/8h	1	10t ダンプ	収集運搬	1
	破碎施設（LTS0J-2）（移動式）	がれき類 376t/8h	1	10t ユニック	収集運搬	1
	破碎施設（ひまわりHR-200）（移動式）	がれき類 480t/8h	1	10t ツカミ	収集運搬	1
	破碎施設（KF-818A）	廃プラスチック類 3.2t/8h	1	8t ツカミ	収集運搬	1
	破碎施設（RPO-310J）	ガラスくず、コンクリートくず及び 陶磁器くず 64.9t/8h	1	6t ツカミ	収集運搬	1
	破碎施設（BY15型）	ガラスくず、コンクリートくず及び 陶磁器くず 35.2t/8h	1	4t ツカミ	収集運搬	1
	破碎施設（RDJ-55EJ）	廃プラスチック類金属くずガラス くず、コンクリートくず及び陶磁 器くず（廃蛍光灯、廃水銀灯に限 る。） 3.1t/8h	1	4t ユニック	収集運搬	5
	造粒固化施設（SR-P1200） （移動式：駐車場での移動を含む）	汚泥（無機性のものに限る。） 640m ³ /8h	1	4t ダンプ	収集運搬	2
	切断施設（KS700R-2）	金属くず 24t/8h	1	3tトラック	収集運搬	1
	汚泥、廃プラスチック 類、金属くずの混合物			2t 箱型	収集運搬	1
				1tトラック	収集運搬	1
				普通自動車	営業車両	6
	バケツ		5			
	ツカミ		3			

処理方法・処理工程



受託した産業廃棄物の処理量

令和2年度（令和2年6月～令和3年5月）

処理方法等		廃棄物等種類	処分方法等	処理量 t	
収集運搬		燃え殻		127.06	
		汚泥		4577.22	
		廃プラスチック類		632.46	
		紙くず		39.61	
		木くず		1395.91	
		繊維くず		24.20	
		動・植物性残さ		2.00	
		金属くず		699.16	
		ガラス・コンクリート・陶磁器くず		2228.99	
		石膏ボード		409.28	
		がれき類		2752.51	
		コンクリート		16604.69	
		アスファルト		1027.90	
		ばいじん		4.44	
		安定型混合廃棄物		0.56	
		管理型混合廃棄物		1462.93	
		石綿含有廃棄物		100.76	
		廃油		16.24	
		水銀使用製品産業廃棄物		7.78	
		燃え殻 有害		0.00	
		汚泥 有害		0.00	
		感染性廃棄物		0.89	
		廃石綿等		16.66	
収集運搬量合計				32131.25	
中間処理		汚泥	焼却・脱水・造粒固化	3798.45	
		廃油	焼却	44.19	
		廃プラスチック類	焼却・破碎	1310.16	
		紙くず	焼却	84.16	
		木くず	焼却・破碎	3179.21	
		繊維くず	焼却	105.77	
		動・植物性残さ	焼却	89.99	
		管理型混合廃棄物	焼却	2030.47	
		がれき類	破碎	5479.00	
		コンクリート	破碎	18527.14	
		アスファルト	破碎	1344.38	
		安定型混合廃棄物	破碎	264.20	
		ガラス・コンクリート・陶磁器くず	破碎	1149.28	
		石膏ボード	破碎	419.87	
		金属くず	切断	912.81	
		混合物	焼却	2294.67	
	うち再資源化等		汚泥		3777.50
			廃プラスチック類		82.58
			木くず		1312.98
			がれき類		5479.00
		コンクリート		18527.14	
		アスファルト		1344.38	
		ガラス・コンクリート・陶磁器くず		7.15	
		金属くず		912.81	
		石膏ボード		39.54	
		再資源化等量小計		31483.08	
中間処理合計				41033.75	
最終処分		燃え殻		1709.54	
		ガラス・コンクリート・陶磁器くず		799.71	
		ばいじん		4.44	
最終処分量合計				2513.69	
中間処理後の産業廃棄物	最終処分		燃え殻	1709.54	
			ガラス・コンクリート・陶磁器くず	799.71	
			ばいじん	4.44	
	再資源化		汚泥		3777.50
			廃プラスチック類		82.58
			木くず		1312.98
			がれき類		5479.00
			コンクリート		18527.14
			アスファルト		1344.38
			ガラス・コンクリート・陶磁器くず		7.15
			金属くず		912.81
			石膏ボード		39.54
	再資源化等量小計		31483.08		
中間処理後処分量合計				33996.77	